

姿川地区 西川田町東武下原自治会

「高齢者にやさしい自治会を目指して」

●加入世帯数：650世帯

●加入率：80.1%

活動内容

西川田町東武下原自治会は、高齢者の増加により、次のような高齢者対策を行っています。

(イ) 自治会長、民生委員、福祉協力員、地域包括支援センター職員による「福祉部会」を毎月1回開催し、自治会内の様々な情報を持ち寄り、情報に基づき地域の見守り、声掛け等の高齢者対策を話し合っている。

(ロ) 介護予防と認知症予防を目的とした「シニアサロン」を毎月第2・4土曜日に開催し、健康体操、ゲーム、おしゃべり等を行い、参加者の親睦と交流を図っている。

(ハ) 福寿会の解散に伴い、生涯学習Gと名称を変更し、輪投げ、囲碁、書道、グラウンドゴルフ、コーラス、健康マージャン、手芸、カラオケ、ダーツのサークルが活動し、延べ200名の方が参加している。(28年度は書道の展示会を行う予定)

(ニ) 公民館内に「ふれあい図書室」と「カフェテラス」を開設(毎週土曜日)し、地域の人たちの交流の場として開放している。

加入率を維持する秘訣

一戸建ての方はほとんど自治会に加入してくれていますが、アパート住まいの方はなかなか入会してくれません。地域のイベント等にお誘いして入会するようにお願いしています。マンションについては、管理会社を通してオーナーと話し合い入会をすすめています。一戸建ての方についても自治会長が一軒一軒訪問し、話し合いをすることが、加入率を高める要因と思われれます。

自治会活動紹介

西川田町東武下原自治会

高齢者福祉対策から世代間交流へ
西川田町東武下原自治会は650世帯、人口約2000人で、姿川地区48自治会の中で最も大きい自治会です。65歳以上の方が約25%、そのうち75歳以上が305名と高齢化が進んでいます。このような現状をふまえ、次の4つの対策を行っています。

1つ目に自治会長、民生委員、福祉協力員、地域包括センター職員による「福祉部会」を毎月1回開催、自治会内の情報を共有し、情報に基づき地域の見守り、声掛け等の高齢者対策を話し合っています。

2つ目に、介護予防と認知症予防を目的とした「シニアサロン」を、毎月第2・4土曜日に開催し、健康体操、健康講話、ゲーム、おしゃべり等を行い参加者の親睦と健康増進を図っています。また、この事業は平野宮市ボランティアセンターが行っている高齢者等地域活動支援ポイント事業に登録しています。

3つ目に、福寿会の解散に伴い、生涯学習グループと名称を変更。現在、輪投げ、囲碁、書道1・2、グラウンドゴルフ、コーラス、健康マージャン、手芸、カラオケ、ダーツの10のサークルが活動、延べ200名の皆さんが参加しています。また、自治会長がリーダーとなり毎朝6時30分から「ラジオ体操」を行い、地域住民の健康増進を図っています。

4つ目に、公民館内に「ふれあい図書室」と「カフェテラス」を開設、地域の人たちの交流の場として開放しています。

以上のような高齢者対策を実施していますが、今後は、若い世代の転入が増えている現状を考えると、若い世代と子どもたちのフォローも重要になるとともに、世代間の交流も今後の課題として考えなければなりません。(若い母親を対象とした講座の開設、都合により休止しているお祭りの復活等)

